

砺波カイニヨ倶楽部は、平成9年4月12日浄光寺にて発足いたしました。会報の創刊号は、当年度5月12日に発行され今回で100号になりました。会員皆様のご理解ご協力のたまものだと思います。有難うございます。

令和5年の活動を紹介します

出前講座(砺波南部小学校)

〈第1回目〉

日 時	令和5年5月11日(木曜日)13:30~14:15
場 所	南部小学校
参加者	35名
講 師	カイニヨ倶楽部会員 天野 一男

講義内容

- ・日本一の散居村が出来た理由
- ・カイニヨ(屋敷林)と暮らし
- ・カイニヨの昔の役割
- ・カイニヨの今後の役割



〈第2回目〉

日 時	令和5年5月23日(火曜日)13:30~14:15
場 所	南部小学校
参加者	35名
講 師	カイニヨ倶楽部会員 高畑邦男

講義内容

- ・屋敷林を後世に継承する為の施策



- ・屋敷林の過去(メリットの時代)
- ・屋敷林の現在(デメリットの時代)
- ・未来(継承する為の施策)

〈第3回目〉

日 時 令和5年6月5日(月曜日)8:40~15:00
 場 所 屋敷林見学会(新藤正夫宅・高畑邦男宅・公園内中嶋家)
 参加者 35名
 講 師 カイニヨ倶楽部会員 新藤正夫・高畑邦男

内容

『新藤正夫家』

- ・庄川の水路・治水・扇状地の成立ち
- ・散居村が出来た理由
- ・屋敷林の見学
- ・アズマダチの説明
- ・アズマダチの家内の見学



『高畑邦男家』

- ・屋敷林の見学
- ・入母屋造りの見学
- ・屋敷林での遊び体験



『チューリップ公園内中嶋家』

新藤先生の話

- ・昔の散居村の暮らしの説明と体験
- ・囲炉裏を囲んでの質問会(かなり煙たかった様です)



〈第4回目〉

日 時 令和5年6月16日(金曜日)13:30~14:15
場 所 南部小学校
参加者 35名
講 師 砺波市役所商工農林部農地林務課 金子・横川
カイニヨ倶楽部会員 高畑邦男

講義内容

屋敷林の役割
屋敷林の現状
屋敷林を守るための取り組み
散居景観保全事業6項目の説明



屋敷林見学会

田門にアズマダチの砺波を代表する風情の3軒を見学する

- 1 日 時 令和5年7月22日(土) 13時~17時頃
- 2 見学目的 砺波市を代表する屋敷林とアズマダチの見学会
- 3 見学場所 ・新藤 正夫宅(砺波市小島地内)
・芳里 三治宅(砺波市堀内地内)
・蔦 英夫宅(砺波市宮村地内)
- 4 見学者数 21名 会員14名 非会員7名
- 5 見学先の概要

新藤正夫宅

田門を通り庭に入ると、迎えてくれたのが3本の大古木のカキ、その後にアズマダチがどっしりと構えて居る。

庭には、アテ、スギ、ケヤキ、モミ、ヒバ、そして二種類のタケ等で構成されている。残念なことは、キャラボク(砺波市の保存樹)が枯れてし



まっている事。家の中も拝見させていただきました。

新藤宅のあま(2階)は、昭和48年当時(スンバ等の燃料が保管されている)そのままです。

芳里三治宅(砺波市保存屋敷林の指定)

バスから降りると待ち構えていたのが、ケヤキの大木2本(砺波市の保存樹)。古木のウラジロガシ(砺波市の保存樹)又カクレミノもあり、スギ、アカマツが入り屋敷林全体のバランスを作っている。屋敷林全てを象徴する勇壮さを感じました。

ご主人からは、家・ケヤキ等の維持管理の苦勞話をお聞きしました。



大木ケヤキの幹周り計測

単位cm

保存樹 NO	測定 1985 年 昭和60年	測定 2023 年 令和5年	幹周りの増加量
41	※ 360	433	+73
42	※ 385	443	+58

※ 砺波市の保存樹であった為、記録が残っていました。

蔦 英夫宅(砺波市保存屋敷林の指定)

門前のサクラが元気よく私たちを迎えてくれました。前庭は広く庭園樹があり、スギが主体で家屋を包み込んでいる。

南面のウラジロガシ(砺波市の保存樹)又多種類が入った屋敷林である。南、西面の生垣、スギは、目隠しの役目と道路の騒音防止の2面効果がある。桜が咲く時期、田門又アズマダチの家、残しておきたい風景です。



柏樹直樹さんの総評

田門にアズマダチの砺波を代表する風情の 3 軒 そのカイニヨは、それぞれに違った形をつくる

◎ 新藤正夫宅

前庭に3本の柿古木は絵になる。スギ、ヒバ、ヒノキを中心に昔の水路法面にあった木々が下木として入り込む。2種類のタケが適度に成立 この広がりを抑える仕事が戦いである。家の中を、見学させて頂きました。ワクノウチ、奥座敷他みんな素晴らしく目の保養に成りました。

◎ 芳里三治宅

庭 南北に2本の大ケヤキが配置され天をつく。市民の宝だ。カシ、スギ、シロダモが南西面に成立家屋をつつむ。

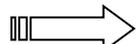
◎ 蔦 英夫宅

庭通路以外全面に庭木が入る。近年のものとしてコウヤマキも加わる。南面のウラジロガシは、王様、西面にはスギが中心である。特徴は、樹木成立の敷地が狭く感じるほど多種類が入る。門前のサクラは、元気で大樹になる勢いである。

※ 砺波を代表する、田門にアズマダチの風情の 3 軒は、後世に是非とも残さなければならぬ屋敷林でありアズマダチの家屋です。

連絡事項

秋の屋敷林見学会の開催予定、ただいま調査準備中です。

〈南山見のカイニヨをみる〉  大風に強いカイニヨの形に学ぶ

14歳の挑戦を当倶楽部で受け入れします。

学 校 名	庄川中学校 生徒 3名
期 間	令和5年9月25日～9月29日(5日間)
作 業 内 容	樹木調査・敷地内の樹木図作成